

「With コロナ」を見据えた経営変革の指標としてのSDGsを学ぶ講演会

講演①「With コロナ時代のSDGs—企業経営の視点から」

講師 学校法人常磐大学学長 (元国連本部経済社会局統計部次長) 富田敬子氏

富田敬子氏：東京女子大学・社会学科を卒業後、(財)国際開発センターに就職。国連本部経済社会局統計部次長にてSDGs※の進捗などの業務に従事。2019年4月より現職。
 ※持続可能な開発目標 (SDGs)、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。

講演②「企業の持続性を考え、SDGsから経営そのものを考える」

講師 サラヤ株式会社 コンプライアンス推進室専任課長 小辻昌平氏

サラヤ株式会社：2017年12月第1回「ジャパンSDGsアワード 外務大臣賞受賞」。本社大阪市。従業員約1,700人。1952年に手洗いと殺菌消毒ができる石鹼液を考案したのが同社のはじまり。医療分野だけでなく畜産・養魚分野でも抗生物質使用の見直しが進んでおり、手洗いや消毒といった感染症予防のための衛生環境づくりを進めている。

2020年9月11日(金) 14:00~16:00(予定)

水戸京成ホテル(水戸市三の丸1-4-73) 聴講無料

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス。日本においては一定程度の封じ込めに成功しつつあるフェーズと言えますが、他の地域では拡大が未だいつ終息するのか予測が難しい情勢です。

ロックダウン、ソーシャルディスタンス、新しい生活様式などを経験し、いわゆる「ビフォーコロナ」と「ウィズコロナ・アフターコロナ」では、人々の生活、価値観、働き方、消費行動が大きく変わる可能性が指摘されています。

本講演会では「ウィズコロナ」を見据えて、人々の変化に経営が対応して行くための一つの指標として注目されております「SDGs(持続可能な開発目標)」について御二方の講師をお招きし、ご解説頂きます。

急激にそして大きく変わる経営環境に対し、即応するためのヒントとしてぜひご聴講下さい。

聴講方法：本講演会は、①当日会場にご来場頂き聴講頂くか、②後日(※開催1週間後を目途に公開予定)録画した講演録をWEBにて聴講頂くかをお選び頂けます。

②WEBでの聴講希望の方には、後日視聴用URLをご連絡致します。

申込み方法：下記申込書に所要事項をご記入の上、またはE-mail (gotou@ikk.or.jp) FAX (029-224-1109)にて、9月4日(金)までに事務局までお申し込みください。

本件担当：事務局(後藤) 水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館11F TEL:029-221-5301

.....
 (一社)茨城県経営者協会 行き FAX(029-224-1109)

「With コロナ」を見据えた経営変革の指標としてのSDGsを学ぶ講演会(9/11) 参加申込書

会社名		
参加者氏名・役職		※何れかに○を記して下さい。 ①会場にて聴講する
参加者氏名・役職		②WEBにて聴講する
TEL		
E-mail	※WEBでの聴講の方はURLをお送り致しますので、必ずご記入をお願い致します。	

※今回の参加者及び申込担当者のデータにつきましては、講師への参照以外の目的では使用しません。また、細心の注意をもって管理し、個人情報漏洩、紛失、き損又は参加企業様の権利利益を損なうことの無いよう努めます。